

(2) 熱分布画像

1) 検証方法

航空機で調査した熱分布画像で、本調査と過去 2 回の調査結果を用い、ヒートアイランド対策箇所の地表面温度変化を測定した。なお、データは熱分布調査で補正した画像とした。

2) 対象箇所

熱分布画像については、画像上で確認できる箇所を 15 箇所程度選定した。

表 6-2 熱分布地点概要

No.	対策内容	地点概要
1	緑化	飯田橋サクラテラス
2	緑化	平河町森タワー
3	緑化	丸の内二重橋ビル
4	緑化	大手町の森
5	緑化	大手町フィナンシャルビル
6	緑化	御茶ノ水ソラシティ
7	緑化	住友不動産秋葉原駅前ビル
8	緑化	大手町パークビル
9	屋上緑化	東京ミッドタウン日比谷
10	屋上緑化	経団連会館
11	屋上緑化	三井住友海上駿河台ビル
12	広場	親水広場
13	公園	ワテラス
14	遮熱性舗装	代官町通り
15	遮熱性舗装	中央通り



図 6-3 熱分布画像による地表面温度検証地点

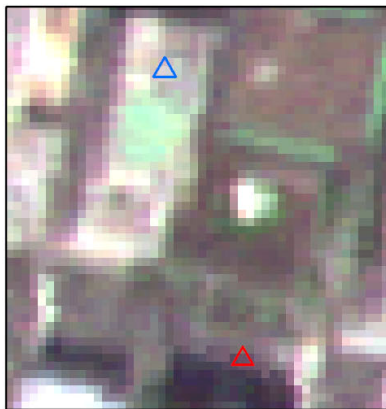
### 3) 調査・検証結果

ヒートアイランド対策をした 15 箇所を検証したうち 6 箇所について、平成 15 年、平成 22 年、令和 4 年の地表面温度の変化を示す。その他の箇所については、参考資料 2 に記載した。

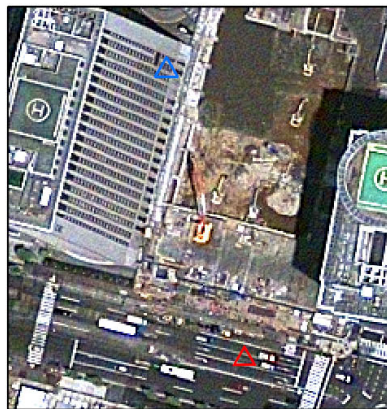
緑化(大手町の森 : No. 4)



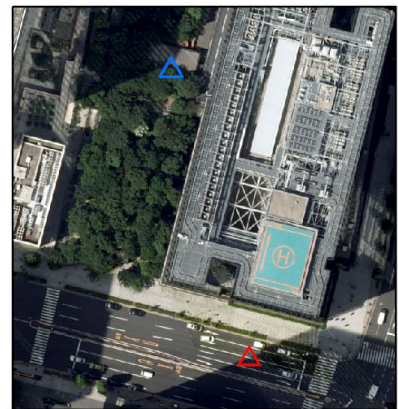
△ : 対策 (緑化)  
△ : 未対策 (道路)



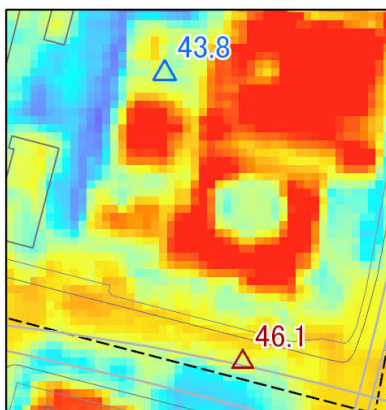
平成15年度



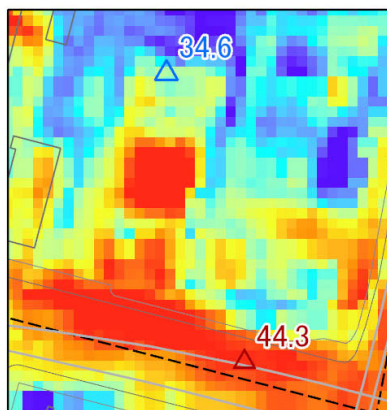
平成22年度



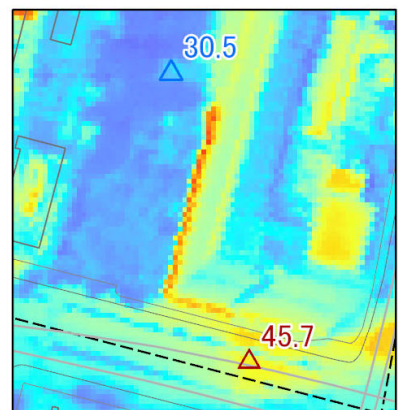
平成30年度(参考)



平成15年度



平成22年度



令和4年度

図 6-4(1) 熱分布画像からの地表面温度の変化

大手町の高層ビル群の中で、土地の植生に合う植物を選び、本物の豊かな森野環境が再現された。平成 15 年に 43.8°C だったが、令和 4 年では 30.5°C と、クールスポットを形成している。なお、未対策の道路は約 44~46°C だった。



屋上緑化(東京ミッドタウン日比谷 : No. 9)

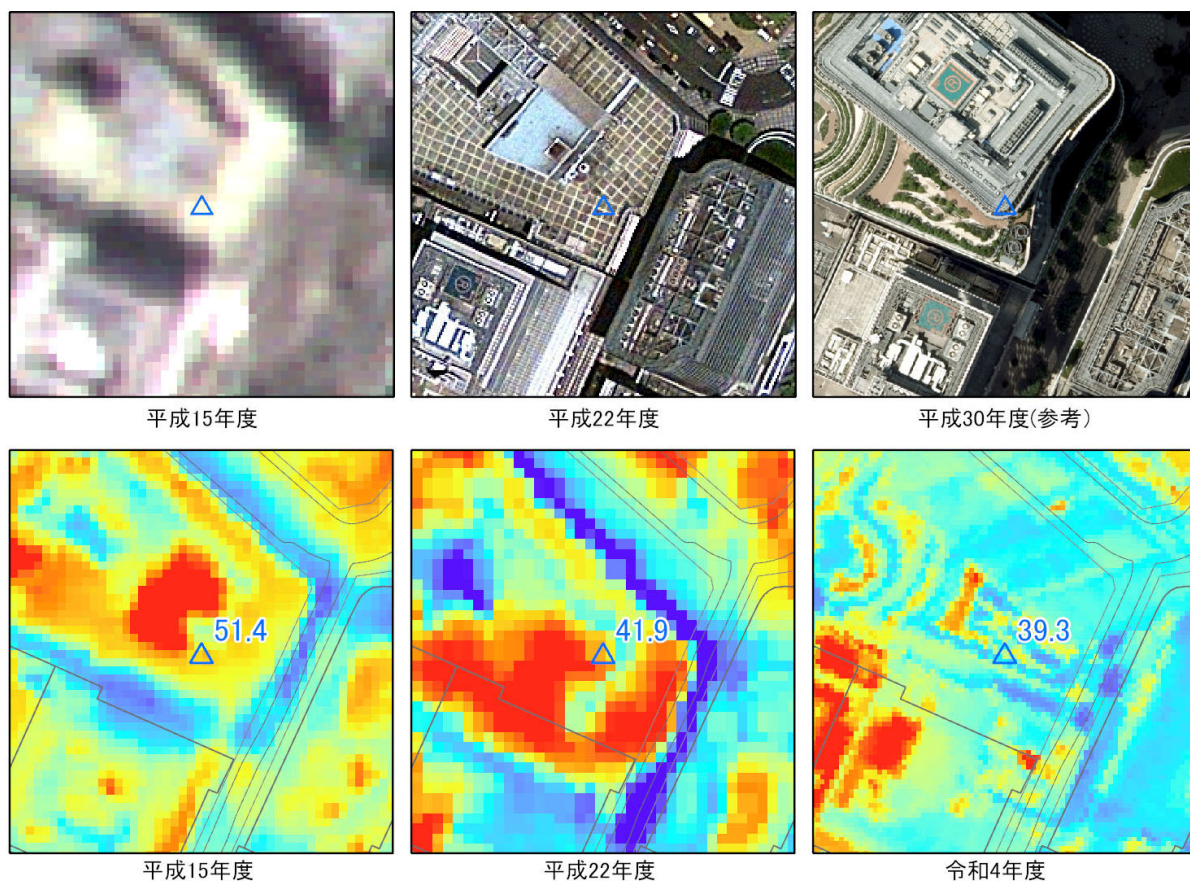


図 6-4(2) 熱分布画像からの地表面温度の変化

緑やオープンスペースと一体化した施設として建設され、平成 15 年度に建物上の表面温度が 51.4℃だったものが、建物完成後の令和 4 年には 39.3℃となっている。

広場(親水広場 : No. 12)

△ : 対策 (広場)    △ : 未対策 (道路)

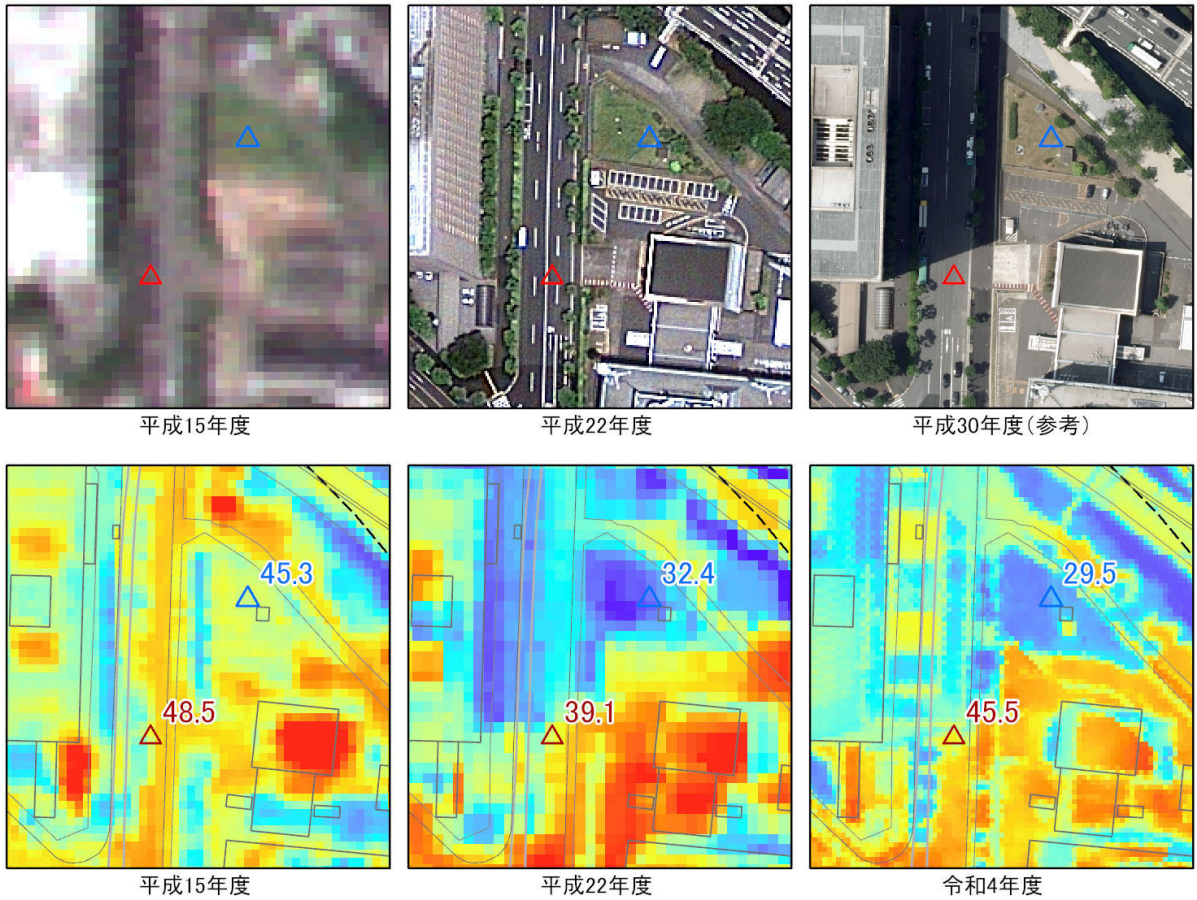
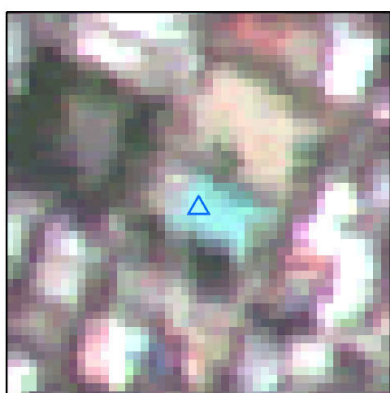
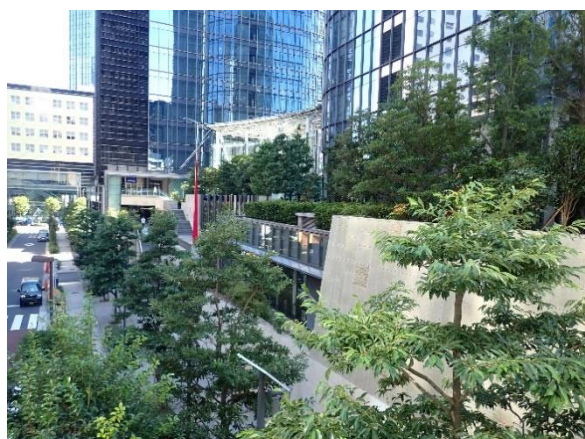


図 6-4(3) 熱分布画像からの地表面温度の変化

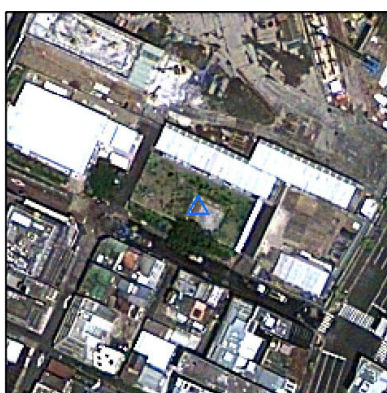
大手町地区の再生事業として着工され、環境への貢献を整備目標の一つに掲げた市街地再開発事業である。屋上緑化や壁面緑化、保水性舗装を導入し、水と緑を配置した結果、平成15年に表面温度が45.3°Cだった地点が29.5°Cに低下している。なお、未対策の道路は約39~49°Cだった。



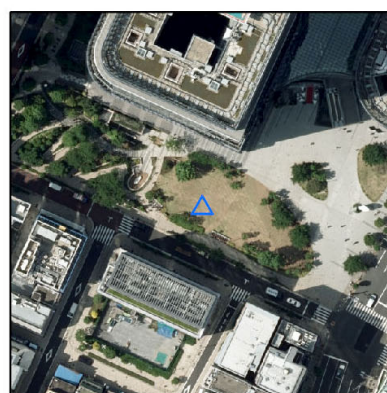
公園(ワテラス : No. 13)



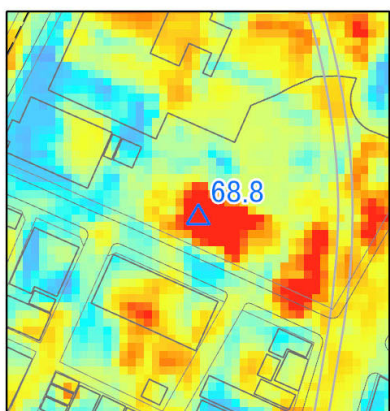
平成15年度



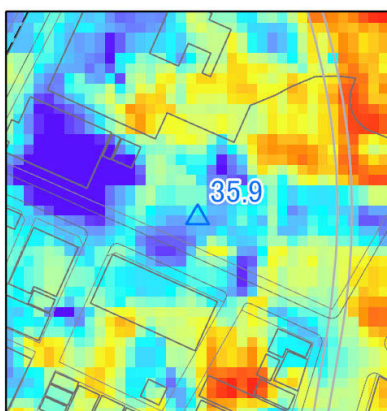
平成22年度



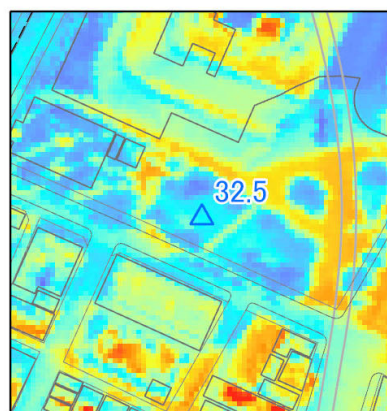
平成30年度(参考)



平成15年度



平成22年度



令和4年度

図 6-4(4) 熱分布画像からの地表面温度の変化

緑やオープンスペースが少なかった地区において、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新により、魅力ある公共施設を整備し、渋滞区商業・業務施設が調和した安全でうるおいのある複合市街地が形成された。主な公共施設として街区公園が整備され、平成15年に68.8℃あった地点が、令和4年には32.5℃と、大幅な表面温度の低減となっている。